

	東北大学 保健系分野（歯学）
学部・研究科名	歯学部（第1年次：53名） 歯学研究科（M：6名、D：42名） 歯学部附属歯科技工士学校（20名）
沿革・設置目的	昭和40年、歯学に関する教育・研究を行うことを目的とし、東北大学歯学部が設置された。  昭和24年（1949年） 東北大学設置 昭和40年（1965年） 東北大学歯学部設置 昭和47年（1972年） 東北大学大学院歯学研究科設置 昭和50年（1975年） 東北大学歯学部附属歯科技工士学校設置 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東北大学の理念である「研究第一」「実学尊重」「門戸開放」に基づき、融合知と国際知により育まれた研究心と高い倫理観、独創性に富む先端研究を通じて考究する科学心、さらに高い見識、高度の専門知識と技術を具備し、世界をリードする研究者・教育者、全人的な見地から人々に貢献する高度専門医療従事者・行政者等の養成を積極的に推進する。</li> <li>○ 歯学の新規概念「インターフェイス口腔健康科学」を基盤として、バイオマテリアル、iPS細胞等による歯学再生医療、口腔バイオフィルム、食の健康等を始めとする各領域における研究の実績を活かして、先端的で特色ある研究や橋渡し研究、臨床研究を推進し、新たな歯科医療技術の開発・実用化や歯科医療水準の向上を目指すとともに、国際的視野のもと、他分野連携・異分野融合研究を通し、次代を担う人材を育成する。</li> <li>○ 医科歯科統合型の医療や先進医療を推進するとともに、高度歯科専門職業人のさらなる育成と再教育等の取組を通じて、東北地方における地域歯科医療及び人材育成の中核的役割を果たす。</li> <li>○ 災害口腔科学分野、歯科法医情報学分野、放射性物質等の歯への蓄積に関する研究を推進するとともに、人材派遣や教育を通じて地域医療やバイオバンクの充実に貢献し、今後の大規模災害対応及び東日本大震災からの復興（創造的復興）において先導的役割を果たす。</li> </ul>

- 歯学研究科教員による先進的医療に関する講義や東北大学病院における臨床実習を活かし、歯学部附属歯科技工士学校におけるカリキュラムの充実を図り、高い倫理感と幅広い視野を持って社会貢献できる歯科技工士を養成する。